

# こども教育会議 会議録

<p>日時</p> <p>平成28年3月24日(木) 13:30～14:30</p>	<p>場所</p> <p>武雄市役所(本庁) 全員協議会室</p>	<p>出席</p> <p>小松市長 浦郷教育長、 教育委員(諸石、古場、前田、河内、岡本、森、犬走、奥川、貝原) 平川企画財政部長、 溝上こども教育部長、諸岡こども教育部理事 大宅くらし部長 教育政策課(牟田課長、樋渡係長) くらし政策課(真崎係長) 企画課(古賀課長、富永、松尾)</p>
<p>1. 協議件名</p>		<p>第9回こども教育会議 (教育大綱「組む」の新年度事業への反映について)</p>

## 議事録

内容

**1 開会**(進行:平川企画財政課長)

**2 議事**(議事進行:小松市長)

(1) 意見交換 テーマ「教育大綱「組む」の新年度事業への反映について」

⇒冒頭に、上記テーマについて企画課から概要説明を行った後、出席者で意見交換を行った。

<市長の発言>

- ・子どもの貧困対策で重要なことは貧困の連鎖を断ち切ることであり、そのためにも子どもへの教育は最重要であると考えます。
- ・ひとり親家庭の子どもの貧困率は特に高いと言われており、ひとり親家庭の支援に力を入れていきたい。
- ・こどもの貧困は数年で解決できるものではなく、長期スパンで施策を考えていく必要がある。
- ・子育て総合支援センターの様々な取り組みは実績をあげており、今後はそのノウハウをアウトリーチ方式で各種団体・市民等に広めていく必要がある。
- ・子どもの貧困については、様々な要素やケースがあり、慎重に実情に応じた対応をすべき問題である。
- ・どんな事業を子どもに向けて実施するにあたっては、一人一人の子どもを起点に安心感を作っていくようにすることが大事だと考える。
- ・教育大綱「組む」について、行政だけではなく、全ての人が関わられるように情報発信していく必要がある。

<出席者の意見>

- ・来年度は教育大綱「組む」をいかに一般化していくかが課題であり、官・民・地域の連携を深めていく必要があるとともに、PDCAサイクルをうまく循環できればと考える。
- ・武雄競輪場の公園整備については、誰もがあの公園に行きたいと思えるような武雄らしい整備をお願いしたい。
- ・ひとり親家庭に限らず、全ての人に武雄市で子どもを生き育てるメリットをPRできれば武雄への移住にもつながるのではないか。
- ・こどもの貧困といっても、精神的、肉体的、経済的と様々な要素がある。実態調査を行い、政策に反映していただきたい。

- ・こどもの貧困対策には地域やP T A組織の関わりは重要であり、子どもがもっと地域に関わることのできる仕組みづくりも大切である。
- ・市が運営する子育て総合支援センターは様々な取り組みにおいてとても効果を発揮している。行政の役割として、今後は子育て総合支援センターのような市民活動団体や民間組織等を育てていくことが大事である。
- ・こどもの貧困対策は、学校だけでは対応できるものではないため、来年度組織される「こどもの貧困対策課」との連携が必要である。

### **3 その他**

#### (1) 次回開催について

日程（予定）：平成28年5月17日（火）

### **4 閉会（進行：平川企画財政部長）**